



# せたがや区議会だより

No.228

平成23年(2011年)1月1日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 議員定数条例を改正する条例などを可決

## 第4回 定例会



### 迎春

#### 新年のごあいさつ

世田谷区議会議長 川上 和彦

あけましておめでとうございます。区民の皆様にとりまして、本年が幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

日本経済は世界的な金融危機の煽りを受け、依然厳しい状況にあります。区民生活や地域経済、区政への影響も深刻化しており、区民税の減収などにより、区財政も

大変厳しい状況にあります。

こうした中、昨年、区においては、積極的な行政改革を進める一方、桜新町と梅丘への子育てセンターの開設や教育センタープラネタリウムのリニューアルなど、未来を担う子どもに資する多くの取り組みを実現しました。

今年も引き続き、強固な財政基盤の構築に向け執行部と連携して取り組んでまいります。

さて、現在国では、地方自治法

改正も含めた地域主権改革の議論が活発化しております。この改革が進めば、地方議会の担う役割と責任は一層重要なものになります。

本区議会では、昨年、議員の費用弁償の額の見直しや議員定数の削減を決定いたしました。

今後分権型社会の中で、議会としての使命を果たすために、全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から15件の案件が、議員から6件の案件が提出されました。議員提出議案のうち3件を賛成少数で否決し、その他のすべての議案は原案どおり可決しました。

●**条例の改正** 10件

○**職員分限条例**

賛成多数 賛成 良、公明、民生、生、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属、反対 共産

病気休職から復帰後、1年以内に同一の疾病により再度休職する場合に休職期間を通算する規定の追加など。

○**区税条例(全員賛成)**

地方税法の改正に伴う、区民税の非課税限度額判定などに必要な給与所得者及び公的年金等受給者の扶養親族に関する情報を収集するための規定の追加。

○**地区計画区域内の建築物制限条例**

賛成多数 賛成 良、公明、民生、共産、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属、反対 無党派

千歳通り北部沿道地区地区整備計画区域の追加など。

○**公園条例**

賛成多数 賛成 良、公明、民生、生、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属、反対 共産、無党派

二子玉川東公園(玉川1-15-8)の新設。

○**区長等の給料条例(全員賛成)**

○**監査委員の給与条例(全員賛成)**

○**教育長の給与・勤務時間条例(全員賛成)**

以上3件は、給料月額及び期末手当の支給月数の改定。

○**区議の報酬・費用弁償条例(全員賛成)**

報酬月額及び期末手当の支給月数の改定。

○**職員給与条例(全員賛成)**

○**幼稚園教育職員給与条例(全員賛成)**

以上2件は、給料月額及び期末手当の支給月数などの改定。

●**指定管理者の指定** 1件

施設名称 指定管理者  
梅丘ウッドベツ 特定非営利活動法人  
カーの森 ウッドベツカーの森

●**特別区道路線の認定** 2件

賛成多数 賛成 良、公明、民生、共産、生、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属、反対 無党派

所在地 延長(m)  
野沢4-23 45・91

(全員賛成)

所在地 延長(m)  
千歳台5-11 41・65

●**人権擁護委員候補者の推薦** 1件

(全員賛成)  
次の候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。

氏名	住所
松原 暁(再任)	下馬
柴崎 ヒサ子(再任)	弦巻
小島 和子(再任)	用賀
荏原 包臣(新任)	用賀
鈴木 賢治(新任)	宮坂

(8ページへ続く)

#### 党派名等

- 自民 自由民主党世田谷区議団
- 公明 公明党世田谷区議団
- 民主 世田谷区議会民主党
- 共産 日本共産党世田谷区議団
- 生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
- 社民 社会民主党世田谷区議団
- み・行 みんなの党世田谷行革110番
- 無党派 無党派市民
- 新風 新風21
- 減税 減税世田谷
- 未来 未来せたがや
- 虹 レインボー世田谷
- 世田谷 世田谷無所属の会
- 無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。



# 平成23年(2011年)年頭に当たって

平成22年12月22日現在

## 自由民主党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日ごろからご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。日本経済は、円高基調や株価の下落などを背景に景気減速の局面を迎えております。国政においては、早急に実効性の高い経済対策に取り組みべきであります。区は、この間の急激な景気悪化の影響による大幅な歳入の落ち込みにより、大変厳しい行財政運営を強いられ、我が党は、区政を支える区議会第一会派として、さらなる行財政改革に取り組み、安全・安心のまちづくりをはじめ、子育て支援や世田谷型福祉の展開など、山積する区政課題に対し、真摯に取り組む決意であります。



**小畑 敏雄**  
〒157-0066  
成城4-19-7  
3484-8848



**川上 和彦**  
〒157-0061  
北鳥山6-18-17-303  
5384-5182



**上島 よしもり**  
〒156-0052  
経堂1-21-16-3F  
5433-5166



**大場 やすのぶ**  
〒154-0011  
上馬2-1-7  
5486-6800



**石川 征男**  
〒157-0072  
祖師谷1-9-16  
3483-5111



**鈴木 昌二**  
〒158-0095  
瀬田4-7-11-606  
3709-3422



**菅沼 つとむ**  
〒154-0015  
桜新町1-14-18  
3428-2161



**新川 勝二**  
〒154-0011  
上馬5-19-16-301  
3429-5650



**山下 芳男**  
〒154-0011  
上馬4-2-5  
3418-2869



**戸のりお**  
〒156-0043  
松原3-29-18  
3323-7223



**山内 彰**  
〒154-0001  
池尻4-29-18  
3411-1488



**山口 ひろひさ**  
〒158-0082  
等々力2-23-6-303  
3702-1819



**山 晋一**  
〒156-0041  
大原1-16-3-112  
3466-7005

以下のとおり取り組みます。

- 健康づくり(学校スポーツ施設の地域開放や照明設備等の整備、区内企業や大学等の運動施設の活用、総合的な生涯スポーツ・レクリエーション施策の推進など)
- 環境・みどり(再生可能エネルギーの活用促進、公共施設での緑化推進や省エネルギー設備の導入、壁面・屋上緑化やガーデニングなどの緑化活動への支援など)
- 産業振興(公共事業での活用や融資制度の充実等による区内事業者支援の強化、区内共通商品券の発行支援、営農支援・農地保全策の拡充など)
- 高齢者・障害者施策(在宅生活を支える地域密着型サービス施設の充実や介護者に対する支援策の強化、高齢者見守りシステムの構築、障害者の就労や地域生活支援策の拡充、福祉人材の確保・育成策の充実など)
- 安全・安心(区内建築物の耐震化への一層の取り組み、急増する

自転車事故防止に向けた安全対策の強化と走行環境の整備、都市型水害対策の強化など)

- 街づくり(開かずの踏切解消に向けた鉄道立体化の促進、小田急線連立事業に伴う駅周辺街づくりの推進、優先整備路線の整備促進や狭あい道路の解消など)
- 子ども施策(保育サービス待機児対策の推進、在宅子育て支援事業の拡充、発達障害児支援策の充実、児童虐待防止策の強化など)
- 教育(世田谷9年教育の推進、地域との連携による区立校の魅力を高める教育活動の展開、学校適正配置の推進など)

私たち自由民主党世田谷区議団は、いつまでも住み続けたいまち世田谷の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

## 世田谷区議会 民進党

新年にあたり、区民の皆様のご健勝を心より祈念いたしますとともに会派一同、日ごろからのご支援に心より感謝申し上げます。

区議会民進党は、会派結成以来、一貫して取り組んできた政策の三本柱である

①「チルドレンファーストの社会



**重政 はるゆき**  
〒156-0043  
松原4-32-3  
3324-9638



**風間 ゆたか**  
〒154-0002  
下馬3-24-19  
6914-9053



**上杉 ひろゆき**  
〒154-0014  
新町2-17-9  
5426-4641



**中村 公太郎**  
〒158-0082  
等々力8-21-3-206  
090-8050-2750



**中塚 さちよ**  
〒156-0055  
船橋1-1-11 松本ビル3階  
3429-6078



**すが やすこ**  
〒157-0064  
給田5-2-13-115  
090-3244-9504



**藤井 まな**  
〒154-0012  
駒沢3-7-9-107  
3487-1267



**西村 じゅんや**  
〒157-0062  
南鳥山5-11-17-205  
5313-0150

②「低負担高満足な福祉サービスの構築」

③「いつまでも安心してくらす世田谷の実現」

に引き続き全力で取り組んでいく所存です。

とりわけ本区において増大する保育ニーズや在宅介護といった喫緊の課題への迅速な対応とともに、梅ヶ丘病院跡地の活用等による、障がい者にも優しいけれどもが主役のまちづくりを目指して参ります。

これらの政策の前提としては歳入増・歳出減の行政改革が必要不可欠です。事業仕分けや、外郭団体改革によって、財源を捻出し、区民の皆様のお声を反映すべく、ともに歩んでいきたいと考えております。

一昨年、衆院と都議会においても第一党にしていたいただいたわが党は、昨年の参院選挙での結果を真摯に受け止めながら国政や都政と連動しながら政策実現に向けてまい進していきます。


また会派の平均年齢37歳という若さで、財政難の今だからこそ活力ある世田谷を取り戻すために今年も走り続けます。

本年も一層の叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。


## 社会民主党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。本年も区民生活の向上を図るため、景気・雇用対策の拡充と社会保障の充実により、安定した地域経済を目指します。


子ども・若者政策を実現し、安心して働き、子育て出来る環境を整備します。高齢者・障がい者の住まいを確保し、みんなが安心して住み続けられる福祉の街づくりを邁進いたします。




**田中 優子**  
〒156-0043  
松原4-34-20-309  
3322-8131



**大庭 正明**  
〒157-0063  
粕谷3-15-3  
3307-1179



**田 圭二**  
〒158-0092  
野毛3-14-1-306  
3702-3550



**唐沢 としみ**  
〒158-0083  
奥沢4-27-4  
3727-2950

## みんなの党・ 世田谷行革110番

謹賀新年。内外ともに激動の幕開けです。私たちはこのたび「せたがや政策会議」改め「みんなの党・世田谷行革110番」を結成しました。税金の無駄遣いの追及、区政の透明化、財源に裏づけられた世田谷らしい福祉の実現、魅力ある街づくりをさらに進めてまいります。行政の追認機関ではなく、議員として、おかしいことを指摘する責任を果たしてまいります。

## 減税世田谷

4年で500万円の区長退職金、500万円の議長役職手当等「議会の常識は区民の非常識！」庶民を度外視した今の議会は代弁者ではない。市民が立ち上がる時です。区民一人ひとりが考え判断し、行動を！



**あべ りきや**  
〒157-0076  
岡本1-38-14-306  
6805-6180

## 未来せたがや

新年あけましておめでとうございます。区民生活のさらなる向上のため、まず行財政改革、議会改革を進め、ムダを省き、子育て、教育、介護、障がい者施策など区民福祉向上に取り組んでまいります。



**稲垣 まさよし**  
〒158-0091  
中町5-28-1  
5758-7400

## レインボー世田谷

慶春。一人の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果をあげることが出来ます。本当に困っている人こそ声を上げることが難しい。少数者として生きてきた経験を糧に「ちいさな声」を代弁します！



**上川 あや**  
〒156-0051  
宮坂2-8-2  
3439-3384



# 新年あけましておめでとうございます

## 公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。皆様からの公明党への温かなご支援ご期待に心より感謝申し上げます。

昨年の参院選では、現政権に対する期待から失望への表れとなった結果となりました。さらには政治とカネ、尖閣諸島における問題や円高対策など外交、経済の解決策が未だ見出せず、危機管理能力のなさが露呈した政府の対応に国民からの失望は否めません。

その中で自治体にとってきわめて憂慮すべき事態は、行政経営の根幹である歳入の大幅な落ち込みであり、景気低迷が今後も続き税収入がさらに減となれば、数年後には、基金が底をつくる事態も想定され、その迫りくる危機にどう対処しゆくのが問われています。わが党は、「大衆とともに」との立党精神に立脚した「300人を超える地方議員のネットワーク」があります。今後は、その持ち味を十分に生かし「国民の生活現場」から声を積み上げ、真に国民のニ

ズに応えられる、かつ整合性の取れた政策を積極的に発信し、その役割を果たしていくことを宣言します。以下、具体的に取り組みを述べます。

- 「福祉先進都市せたがやを目指す」
- ① 高齢者見守りネットワークの構築、② 高齢者の居場所（すまい）の確保、③ ワクチン接種公費助成の実現、④ 新しい福祉・こころの健康の推進
- 「自立都市せたがやを目指す」
- ① 児童虐待対策の強化、② 動物殺処分ゼロへの取り組みの強化、③ 政策検証による新たな財源確保、④ 新たな地域雇用の創出、⑤ 若者および高齢者の就労支援策の強化
- 「環境都市せたがやを目指す」
- ① 環境配慮型都市への転換、② みどりの創出の推進、③ 公共施設におけるエネルギー負荷低減への取り組み、④ 都市農業の振興
- 「教育都市せたがやを目指す」
- ① 魅力ある公教育の復権、② 幼児教育の充実、③ 不登校対策の強化



岡本 のぶ子 〒156-0054 桜丘4-11-15 3427-0557  
市川 康 憲 〒158-0082 等々力7-24-15 3704-8095  
板井 斎 〒158-0087 玉堤1-16-28 3704-8405  
飯塚 和 道 〒154-0002 下馬5-7-6 3410-2757



高橋 昭彦 〒156-0044 赤堤2-30-12 3327-0443  
高久 則男 〒154-0005 三宿2-14-7-304 3422-0828  
杉田 光信 〒157-0061 北鳥山6-32-16 3308-4033  
佐藤 弘人 〒157-0071 千歳台3-21-14 3482-7732



星 養一 〒154-0016 弦巻1-28-18 3426-7197  
塚 敬二 〒154-0022 梅丘3-4-12 3420-0240

## 日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。

今年は一斉地方選挙の年です。日本共産党は、区民のくらしが大変な時だからこそ、福祉最優先の区政実現に全力で取り組みます。熊本区政は財政が厳しいと、子ども医療費無料制度、がん検診などの値上げ・有料化を検討するとしています。一方二子玉川再開発には、700億円もの税金投入を続けています。一部完成したマンション

ンは1戸4億円です。税金の使い道が逆さまではないでしょうか。日本共産党はこの間、皆さんとともに認可保育園の大量建設を実現し、保育待機児解消とともに、地元の建設業者の仕事おこしや雇用創出につなげてきました。中小零細業者向けゼロ金利融資を実現し、多くの業者の方に喜ばれています。さらに、公契約条例の制定、住宅リフォーム助成を実現します。特養老人ホームや障がい者向けケアハウスの建設を進めます。出張所、総合支所を充実させ身近で便利な区役所をめざします。



井 稔 〒154-0024 三軒茶屋1-6-11 5481-2928  
武 志 〒157-0067 喜多見4-28-19 喜多見コーポ201 3415-6244



中里 光夫 〒155-0033 代田2-31-4-303 3795-7091  
吉 ゆみ 〒157-0063 粕谷3-26-16 3309-3792



村田 義則 〒158-0081 深沢4-7-12 3702-3206

## 生活者ネットワーク 世田谷区議団

明けましておめでとうございます。平成23年度は区政において変革の年となりますが、今年も区民主体・区民本位で以下の重点施策を推進いたします。

- 子育て・子育て支援を強化し、教育と若者施策を充実させる
- 高齢者・障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けられるしくみ



竹村 津絵 〒158-0091 中町4-1-8 3703-0451  
桜井 純子 〒157-0065 上祖師谷5-20-5 3326-9665



吉田 恵子 〒154-0012 駒沢2-18-4-201 5430-9699  
山木きょう子 〒154-0002 下馬1-29-6 5712-3245

- と施設整備を拡充する
- 区民が守り育ててきたみどり・景観を次世代へ継承する
- 都市農業を活性化させ、地産地消を進めて食の安全を確保する
- 太陽光・太陽熱、雨水などを活用し、資源回収を進めてエネルギー・資源循環型社会をつくる
- 男女共同参画社会への取り組みを推進し、DVを根絶する
- 区民にひらかれた区議会に！

## 無党派市民

迎春 京王線は騒音対策からも全線地下に、地上は新宿御苑から多摩川に至る緑道を。小田急地下化の下北沢を補助54号線で破壊する。連立事業とセットの新規幹線道路と高層再開発の抜本見直しを。



木下 泰之 〒155-0033 代田4-24-15-102 5355-1283

## 新風21

あけましておめでとうございます。新たな年に新たな風を。新風21として、地区の力の強化、お元氣高齢者対策、おせっかい行政の展開に全力を尽くします。地域が笑い声に包まれる、それが願いです。



小泉 たま子 〒157-0068 宇奈根3-14-28 3415-0305

## 世田谷無所属の会

謹賀新年 区民の皆様が安全で安心して暮らせるよう「声なき声」「サイレントマジョリティー」の声をきちんと捉え、広く大多数の声を生かしてまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



ひうち 優子 〒155-0033 代田6-6-22-102 3466-3858

## 無所属

新年あけましておめでとうございます。区を取り巻く社会経済環境は依然厳しいものがありますが今年には明るい話題が溢れてほしいものです。私も明日が感じられる地域づくりに全力で取り組みます。



青空 こうじ 〒156-0041 大原1-13-7 3485-2726



市 (東京都指定無形民俗文化財) の様子



# 代 表 質 問

11月24日及び25日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団

小畑 敏雄議員

## 健全財政の維持に向けた区の姿勢

**質問** 区の努力により21年度決算での区財政の健全性は保たれたが、当面の財政見通しは厳しい。財政規律を維持し、安全安心まちづくりを進めるためどう取り組むのか。  
**副区長** 政策点検方針に基づく全庁的な点検作業をさらに強化する。

## 入札と契約の制度のあり方の検討

**質問** 過度の低価格入札がふえていて、透明性と公平性の確保に加え、事業の質と区内事業者の健全経営の確保の点からも、入札と契約の制度のあり方を広く検討せよ。  
**財務部長** ささまざまな立場からの意見を聞き、幅広く検討を進める。

## 区内産業の育成

**質問** 新たな産業の育成は地域経済活性化の効果が期待できる。区が誘致する映像コンテンツ産業などと区内中小企業が連携し、技術革新などに取り組む基盤をつくれ。  
**区長** 新産業の育成と既存産業の発展の支援に積極的に取り組む。

## 農地保全策と農業振興策の強化

**質問** 区の良い自然環境を守る上で、農地保全と農業振興の取り組みは重要だ。農地に係る相続税の負担軽減を国に求めるとともに、農業後継者の育成策も充実せよ。  
**区長** 貴重な緑としての農地を残すため、全力を挙げて取り組む。

## スポーツの世田谷の推進

**質問** スポーツ活動は、健康増進に寄与するだけでなく、地域のさまざまなを深めるなど多様な社会的意義を持つものだ。今後もスポーツの世田谷を積極的に推進せよ。  
**副区長** 東京国体の準備などを通してスポーツの世田谷を推進する。

## スポーツ環境の整備充実

**質問** 厳しい財政状況においても知恵を絞り、スポーツ環境の整備に取組むべきだ。大学や企業に武道施設やラグビー場の区民開放への協力を求めるなど、工夫せよ。

ネオ・振興部長 創意工夫を重ね、スポーツ環境の整備に取り組む。

砧支所新庁舎の省エネ効果の評価

**質問** 区はさまざまな省エネ技術を導入し、砧支所を改築した。新たな庁舎となって1年以上が経過する中で、省エネ効果について区はどのように評価しているのか。  
**施設管理部長** 電気使用量が減るなど、効果が十分に出ている。

## 在宅子育て支援の充実

**質問** 保育施設の整備は喫緊の課題だが、核家族化が進む中、在宅での子育て支援の充実も重要だ。後期子ども計画では、在宅での子育て支援にも十分に取組む。  
**子ども部長** 身近な相談機能と交流の場の充実などに取組む。

## 外環道整備に係る課題の検討状況

**質問** 慢性的な渋滞の解消で、排ガス削減や社会経済活動の改善が期待できる外環道整備を早急に実現すべきだ。東名ジャンクションの構造形式などの検討状況を示せ。  
**道路整備部長** 地域に配慮した構造の検討などが進められている。

## 外環道周辺地区のまちづくり

**質問** 区は外環道の整備に合わせ、周辺まちづくりを積極的に進めるべきだ。地域の声をしっかりと生かし、東名ジャンクション周辺地区で生じる課題の解決に取り組め。  
**砧支所長** 外環本体構造の決定後に、地域と具体の検討を進める。

## 住環境を確保する条例の制定

**質問** 区は「都市計画法の規定に基づく開発行為の許可等に関する条例」の制定に向け、条例素案へのパブリックコメントを行っている。条例制定の目的と意義を示せ。  
**拠点整備部長** 緑の保全や創出などを一層推進するものである。

## 「道」の文化の継承

**質問** 日本人が古来より受け継いできた華道や茶道などの「道」の文化を次世代にしっかりと伝えるべきだ。教科日本語や中学校で必修となる武道をさらに充実させよ。  
**教育長** 道の文化を継承し、発展させる児童生徒の育成に取り組む。

公明党世田谷区議団

飯塚 和道議員

## 外郭団体の固有職員の育成

**質問** 外郭団体の改善を進める上で、外郭団体の固有職員の育成は重要だ。固有職員の育成の弊害にならないよう、固定化している区職員の派遣方法の改善を図れ。  
**政策経営部長** 引き続き人材育成も含めた団体経営への指導を行う。

## 環境に配慮した契約の推進

**質問** 国は環境契約配慮法で電気購入などの際には環境に配慮した契約を行うよう自治体に求めているが、区市町村の実践例は特に少ない。実践する上での課題を示せ。  
**財務部長** 大規模な電気の購入契約などの案件が少ないことである。

## 区独自のポイントカード事業

**質問** 大胆な発想で産業政策を展開すべきだ。世田谷線沿線をモデル地域とし、せたまるカードや電子マネーとも連携させた地域密着型ポイントカード事業を行え。  
**産業政策部長** 今後、さまざまな視点からの検討を進める。

## スポーツ環境の整備

**質問** スポーツは、人間力を高めるべく大切なものだ。だれもがスポーツに親しめるよう、さまざまな手法を用いて施設の拡充を図れ。  
**ネオ・振興部長** 公園の有効活用や民間施設の区民開放などを目指す。

## 活字離れを防ぐ取り組み

**質問** パソコンの普及により、子どもの活字離れが深刻化している。授業への関心を高めるICTを活用した教育と、活字への親しみを深める教育をどう融合させるのか。  
**教育政策部長** 情報活用能力とともに読書力も高まるよう取り組む。

## 建物のリノベーションの推進

**質問** 建物を機能が向上するよう改修し、性能や価値を高めるリノベーションの手法を推進すべきだ。空き家などの有効活用を促すため、民間型整備優遇制度を創設せよ。  
**都市整備部長** 厳しい財政状況に

あり、引き続き現制度を活用する。

自治体間交流による地域の活性化

**質問** 自治体間交流を地域活性化につながる仕組みを構築すべきだ。区と交流自治体の双方の特産品の販売や情報の発信を行う、観光政策の拠点づくりに取り組め。  
**産業政策部長** 観光施策などの視点から関係所管と連携し検討する。

## 地籍調査の迅速な実施

**質問** 土地の正確な情報を把握するための地籍調査は重要だが、区の調査の進捗率は約23%と低い。人的配置を含めて体制を強化し、迅速かつ計画的に調査を進めよ。  
**道路整備部長** 迅速な実施を目指し、体制の強化も含めて検討する。

## 第2の産後ケアセンターの整備

**質問** 育児不安に悩む保護者への支援をさらに充実すべきだ。区への権限移管も視野に入れた児童相談所の機能をあわせ持つ第2の産後ケアセンターの整備を検討せよ。  
**子ども部長** 産後ケア事業のあり方について、広く研究する。

世田谷区議会民主党

藤井 まな議員

## 今後の区政運営の課題

**質問** 区長は23年の5月からは後進に区政運営を託すとした。区長就任以来の8年間を総括し、今後の区政運営における課題を示せ。  
**区長** 区民の生命と財産を守ることに区政の最優先課題である。

## 第三者による事業仕分けの実施

**質問** 政策検証委員会は、施策の方向性に関する提言を行うだけで、廃止や縮減、民間委託等の結論は出さなかった。第三者による具体的な結論を出す事業仕分けを行え。  
**副区長** 事業廃止などの最終的判断は首長が行わなければならない。

## 高齢者の実態把握への取り組み

**質問** 認知症高齢者をねらう詐欺などを防ぐには、まずは区内の高齢者の実態把握が重要だ。郵送による全高齢者実態調査に未回答の4万人に直ちに全戸訪問を行え。  
**地域福祉部長** 未回答者を順次訪問し、実態把握に努めている。

## 区立校への認可園分園の整備推進

**質問** 待機児の解消策としての学校敷地への認可園分園の整備は、小学校と連携した就学前教育を進める上で有効だ。全区立校で整備の可能性を探り整備を一層進めよ。  
**子ども部長** 教育委員会と連携し、学校敷地の活用の可能性を探る。

## 外郭団体での障害者の雇用促進

**質問** 外郭団体には、障害者の法定雇用率を下回るどころか雇用実績すらない団体もある。区内事業者の見本となるよう改善を求めよ。  
**政策経営部長** 就労形態の工夫などを通じ、取り組むよう指導する。

## いじめ撲滅担当指導主事の設置

**質問** いじめを苦にした子どもの自殺を防ぐことは行政の最大の責務だ。いじめの根本的解決に向け、教育委員会に、いじめ撲滅に専門的に取り組む指導主事を配置せよ。  
**教育長** より組織的に、いじめ防止や迅速な対応に一層取り組む。

日本共産党世田谷区議団

桜井 稔議員

## こころの健康相談事業の拡充

**質問** 就職難など若者をめぐる社会状況は深刻であり、ひきこもりなどがふえている。心の健康相談を自宅などから気軽に受けられるよう、電子メールによる相談を実施せよ。  
**保健所長** 引き続き、相談体制のあり方を含めて研究課題とする。

## 子ども医療費助成制度の継続実施

**質問** 命と健康に係る施策を後退させてはならない。政策点検方針で見直し対象となっていない中学3年までの医療費助成は継続せよ。  
**子ども部長** 国の動向を注視しつつ方針に基づく点検を進めている。

## 都市型軽費老人ホームの整備促進

**質問** 区内の介護施設は不足しており、低負担で入所できる都市型軽費老人ホームの整備が急務だ。3年間で120人分の施設を整備するという区の計画は実現できるのか。  
**地域福祉部長** 今後も積極的に事業者に働きかけ、整備を促進する。

## 都営団地への高齢者施設の整備

**質問** 都営下馬団地の建てかえの3期工事の際に、不足している特養ホームなど的高齢者施設も整備すべきだ。区は都と協議を進めよ。  
**地域福祉部長** 都の協力を得られるよう努め、整備内容を検討する。

## 住宅リフォーム助成の拡充

**質問** 住宅リフォームへの助成は、区内事業者の仕事起こしにつながるため、地域経済の活性化に有効だ。助成対象の拡大や予算の増額により、助成の拡充を図れ。  
**都市整備部長** 一般的なリフォームに対する助成は困難と考える。

## 公契約条例の制定

**質問** 多くの区非常勤職員が低賃金を理由に離職している現状では、公共サービスの質の確保は難しい。労働者の生活を守りサービスの質を確保する公契約条例を制定せよ。  
**財務部長** 引き続き、適正な競争環境や公契約のあり方を検討する。



第5回世田谷246ハーフマラソンの様子



# 代 表 質 問

生活者ネットワーク世田谷区議団

吉田 恵子議員

## 区民自治のさらなる推進

**質問** 区民と協働して地域課題を解決することこそが区民自治につながる。住民自治の原点に戻るべきとの政策検証委員会の提言を受け、区民自治への取り組みを進めよ。  
**区長** 自治体の長として、地方自治の一層の拡充が必要だと考える。せたがや自治政策研究所の成果

**質問** せたがや自治政策研究所は発足以来、シンポジウムの開催や論文集の作成などを行ってきた。しかし重要なのは政策につなげることだ。具体的な成果をきく。  
**政策経営部長** 住民力の調査などが施策の検討に生かされている。

**質問** せたがや自治政策研究所は発足以来、シンポジウムの開催や論文集の作成などを行ってきた。しかし重要なのは政策につなげることだ。具体的な成果をきく。  
**政策経営部長** 住民力の調査などが施策の検討に生かされている。

**質問** せたがや自治政策研究所は発足以来、シンポジウムの開催や論文集の作成などを行ってきた。しかし重要なのは政策につなげることだ。具体的な成果をきく。  
**政策経営部長** 住民力の調査などが施策の検討に生かされている。

## ケアラー支援策の充実

**質問** ケアラー（家族などの介護者）は介護中心の生活により身体的、精神的、経済的な不安を抱えている。世田谷の福祉の将来を見据え、支援策を充実せよ。  
**保健福祉部長** 地域保健医療福祉総合計画の改定に合わせ検討する。

## 街づくり条例の改正後の検証

**質問** 街づくり条例改正で地区計画素案の申し出などが明記されたが要件は厳しく、まちづくりへの区民参加が広がるか疑問だ。改正内容が十分か運用の中で検証せよ。  
**都市整備部長** 実施状況を確認し、必要に応じて課題を検討する。

## ごみの減量と資源化の推進

**質問** 区内の家庭から出される可燃ごみのうち約22%が資源化可能物だ。ごみ減量と資源化を進めるため、分別排出の促進に力を注げ。  
**清掃課長** より効果的な普及啓発策などを展開していく。

代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
議会中継をクリック！



愛称から区の道路通称名となった森繁通り（写真は船橋1-13付近）

本文中で使用している省略表記  
●スポーツ振興部長・スポーツ振興担当部長  
●施設整備部長・施設整備担当部長  
●福祉部長・福祉総合支所長  
●福祉支所長・福祉総合支所長  
●拠点整備部長・生活拠点整備担当部長  
●保健所長・世田谷保健所長  
●環境対策部長・環境総合対策室長  
●支所・総合支所  
●全高齢者実態調査・全高齢者実態把握調査

## 一 般 質 問

11月25日及び26日の本会議では、32名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

### 青空 二つじ議員（無所属）

**質問** 児童虐待の防止に向けた取り組みを強化すべきだ。とりわけ妊娠中からの予防策の強化に向け、24時間体制による相談窓口の設置など、具体的な対策を講じよ。  
**答弁** 要保護児童支援協議会を活用し、具体的に対応策を検討する。

### 虐待の世代連鎖解消への取り組み

**質問** 虐待の世代連鎖をなくす取り組みが重要だ。虐待を受けた子どもへの心の支援とともに、再発防止と家庭環境の改善に向けた親への指導や支援にも一層力を注げ。  
**答弁** 今後は職員の対応力向上に向け、研修の充実などに努める。

### 世田谷9年教育への理解促進

**質問** 地域とともに子どもを育てる学校教育を推進すべきだ。世田谷9年教育が地域と一体となって発展するよう、理念や取り組みを示し、地域の理解促進に取り組め。  
**答弁** 機会をとらえて周知し、理解と協力を得られるよう取り組む。

### 高久 則男議員（公明）

**質問** 空き家の適正管理への取り組み 放火や倒壊の危険性が高い老朽化した空き家への対応が急務だ。所沢市での条例制定の例も参考に、所有者に空き家を適正管理してもらう取り組みを強化せよ。  
**答弁** 関係所管が連携し、他自治体の取り組みなどを研究する。

### 子育てステーションの一層の展開

**質問** 在宅子育ての支援に有効な子育てステーションは、区内全駅に展開すべきだ。まずは、主要駅への設置や東北沢駅前を整備する保育園への併設などに取り組み。  
**答弁** 既存のステーションの運営の充実などで環境整備に取り組む。

### 区営住宅への遮熱性塗装の実施

**質問** ヒートアイランド対策として、建物の表面温度の上昇を抑制する遮熱性塗装は有効だ。屋内の暑さ対策ともなる遮熱性塗装を、まずは区営住宅へ実施せよ。  
**答弁** 区営住宅へモデル的に導入し、遮熱性などを検証する。

### 大庭 正明議員（み・行）

**質問** 区を被告とした住民訴訟で、争点となる書類には責任者である課長の印はあるが、課長は内容を確認していないと区が主張していると聞く。この主張は事実なのか。  
**答弁** 争訟の中で事実確認においてそのような主張をした。

### 梅ヶ丘病院跡地取得の見通し

**質問** 昨今の経済状況では、梅ヶ丘病院跡地の整備を民間活力に期待することは困難だ。民間活力の活用が見通しが不透明である今後跡地取得の決断時期を示せ。  
**答弁** 購入が断念かの最終判断は、25年度になるものと想定している。

### 100年を見通した災害対策

**質問** 今後100年間で大地震が東京を数回襲ってくるの見方がある。災害からの復旧能力に応じたまちづくりを展開するなど、100年を見通した地道な災害対策を進めよ。  
**答弁** ハード、ソフト両面から全庁を挙げて対策に取り組んでいる。

### 島山 晋一議員（自 民）

**質問** 下北沢駅周辺の道路の整備 井の頭線の下北沢駅東側の高架橋化により道路整備が可能な空間が生まれる。歩行者の駅周辺の回遊性向上に向け、その空間を歩行者専用の道路として整備せよ。  
**答弁** 地区計画などに基づき、歩行者主体の道路の整備を行う。

### 井の頭線高架下への施設整備

**質問** 井の頭線の高架橋化に伴い生じる高架下には、下北沢駅周辺の地域課題の解決のための施設を整備すべきだ。保育施設や駐輪場などの整備実現に向けて取り組み。  
**答弁** 要望の高い公共的利用について、鉄道事業者と協議していく。

### 道路整備に向けた財源の確保

**質問** 下北沢駅東側の歩行者専用道路の整備に向け、区は高架橋化工事の後に事業者から用地を買収する予定だと聞く。厳しい財政状況の中、財源はどのように確保するのか。  
**答弁** 交付金などの導入について国や都と引き続き協議を進める。

### 大場 やすのぶ議員（自 民）

**質問** 今後の公共施設の整備では、省エネ化と経費削減の両立が重要だ。トイレの節水システムをレンタルで導入し、初期費用の軽減を図るなど、柔軟な発想で取り組み。  
**答弁** 民間のサービスなどを生かした省エネの推進は重要と考える。

### 世田谷美術館のエコ化

**質問** 世田谷美術館の改修にはエコ施設づくりの視点で臨むべきだ。無駄な空間をつくらない省スペース化や節水などに民間のアイデアやサービスを積極的に取り入れよ。  
**答弁** 民間のアイデアの採用などは省エネ推進への研究課題とする。

### 男性のDV被害者への支援

**質問** DVに関する区への相談件数は年々増加しており、対策の強化が急務だ。被害者の多数を占める女性だけでなく、男性の被害者への支援にも十分力を入れよ。  
**答弁** DV根絶に向け、男性被害者への支援も含めさらに検討する。

### 杉田 光信議員（公明）

**質問** 木材の持つ教育的効果への認識 木材の利用は、温かみがある快適な空間の創出に役立つだけでなく、森林保全などについて学習するきっかけともなる。木材の持つ教育的効果への認識を示せ。  
**答弁** 環境について考え主体的に行動するきっかけとなると考える。

### 災害時の飲料水の供給体制の周知

**質問** 過去の被災地では、災害時に住民に十分な水を供給することが困難であったと聞く。この教訓に学び、区は飲料水の供給体制と供給方法の周知徹底を図れ。  
**答弁** 今後も、さまざまな機会をとらえて給水方法を周知する。

### 落ち葉対策の強化

**質問** 街路樹などの落ち葉の清掃は、高齢者などに負担となっている。このような相談に適切に対応するとともに、清掃への協力を地域に呼びかけるなど努力せよ。  
**答弁** 関係機関と連携し地域ボランティアによる取り組みを進める。

### 風間 ゆたか議員（民 主）

**質問** 23年度の保育施設の整備方針 0歳児数や認可園申込者数は年々ふえており、一層の保育定員枠の拡大が急務だ。23年度の保育施設整備の目標数を早急に示し、待機児解消に全力を挙げよ。  
**答弁** 国有地の活用も含め、23年度予算編成で整備方針を検討する。

### 両親学級の拡充

**質問** 若い父親の育児参加意識の高まりから、産前に実施する両親学級への参加希望者が急増している。虐待防止などの効果も期待される両親学級を一層拡充せよ。  
**答弁** 両親学級に関する調査の結果などを踏まえ引き続き検討する。

### 新たな産業政策の展開

**質問** スマートグリッド（次世代電力網）が実現すれば関連事業者の集積や雇用の創出が期待できる。国が実証実験のモデル地区を募集した際、区はどうか検討したのか。  
**答弁** 関連企業の参加などが条件だったため、参加に至らなかった。

### 村田 義則議員（共 産）

**質問** 奥沢駅と尾山台駅の駅舎の改善 東急目黒線奥沢駅と大井町線尾山台駅には、上りと下りのホーム間に連絡通路がなく、踏切閉鎖中は行き来できない。連絡通路の設置などを東急電鉄に要望せよ。  
**答弁** 住民に便利な駅利用を目指し、十分な安全対策を一層求める。

### タマリパーバスの路線の延伸

**質問** 大田区との区境周辺の住民は、バス停が遠いためタマリパーバスを利用しにくい。玉堤通り沿いの公共用地の活用も視野に、バス路線を大田区側まで延伸せよ。  
**答弁** 路線延伸には大きな課題があるためバス事業者から聞いている。

### 区民に誤解を与える広報の改善

**質問** 区のおしらせ特集号で示された今後の基金残高の推移は今後大幅に誤差が生じる可能性が高く、財政危機を誇張するばかりか区民の誤解を招く。説明と訂正を行え。  
**答弁** 今後も、わかりやすい情報提供と適切な内容の周知に努める。



中里 光夫議員(共産)

下北沢駅の駅前整備の見直し

質問 下北沢駅前を人が集う広場とすべきだ。駅前のバスロータリー計画を見直し、井の頭線の高架橋化で生じる空間へのバス通行可能な道路の整備を検討せよ。

答弁 自動車通行ではなく歩行者主体の道路を整備する考えである。

保育室の拡充

質問 保育室は区民から高く評価されており、開設したい事業者がいるにもかかわらず減少している。世田谷の保育の重要な役割を担ってきた保育室の拡充を図れ。

答弁 認可外施設としては、認証保育所を拡充することとしている。

梅ヶ丘病院跡地に小児精神医療を

質問 都立梅ヶ丘病院の廃止により、子どもと思春期の精神疾患の患者は行き場を失った。梅ヶ丘病院の跡地に子どもと思春期の精神医療の機能を持つ施設を整備せよ。

答弁 今後も専門医療と連携しながら、子どもの支援を図っていく。

桜井 純子議員(生ネ)

犯罪被害者への支援体制の整備

質問 多くの犯罪被害者がだれにも相談できず、社会生活が困難な状態になっている。区民に身近な区として犯罪被害者を支援できるよう、体制を早急に整備せよ。

答弁 今後も他自治体の動向を把握しつつ対応力の向上に取り組む。

区民や区内企業への労働法の周知

質問 労働法に定められている労働者の権利を知らないため、企業の違法行為に泣き寝入りしている区民は多い。区は、区民や区内企業に労働法の内容を周知せよ。

答弁 NPOなどの関係機関と連携を図り、啓発などを進める。

就労あつせんの質の向上

質問 区のおしごと相談コーナーでの就労あつせんの質の向上に取り組むべきだ。あつせん後の就労状況や離職理由などの把握に向け、利用者への継続した調査を行え。

答弁 今後のあつせんにつながる有効な取り組みとを考え、検討する。

重政 はるゆき議員(民主)

外郭団体への補助金支出の違法性

質問 自治体が外郭団体に派遣した職員の人件費を補助金として支出したことは違法との判例がある。区は違法とされたこのような補助金の支出はないと言い切れるのか。

答弁 派遣職員の給与に係る直接の補助金は交付していない。

在宅介護者支援に向けた取り組み

質問 孤立しがちな在宅介護者の支援に向け、まずは実態把握が急務だ。抽出ではなく全高齢者の実態調査を行い、在宅介護者に情報を直接提供できる仕組みをつくれ。

答弁 全高齢者実態調査の未回答者への実態調査を今後も進める。

区立保育園の運営経費への認識

質問 区立保育園は、運営経費に占める人件費の割合が高く、保育料収入の割合は低いと聞く。民営化の推進などの議論がある中、この現状に対する区の認識を示せ。

答弁 子育てに係る費用の負担については国の動向なども見定める。

上杉 裕之議員(民主)

障害者への理解の促進

質問 障害者差別のない社会の実現には、健常者が障害者と交流を持つことが重要だ。条例を制定した千葉県の例を参考に、障害者理解を促進する取り組みを推進せよ。

答弁 今後も交流の機会などを工夫し、障害理解への啓発に努める。

多摩川の洪水防止策の検討

質問 二子玉川再開発と合わせて検討されていたスパー堤防事業が、国の事業仕分けで廃止と判断された。区は、ほかの手法による多摩川の洪水防止策を検討せよ。

答弁 流域対策の実施など、今後も水害に強いまちづくりを進める。

住民合意の京王線沿線まちづくり

質問 京王線沿線のまちづくりは連立事業の構造形式への区民理解が不可欠だ。時間をかけて区民との合意形成を図り、連立事業と一体となったまちづくりを進めよ。

答弁 一体的なまちづくりの検討などが必要だと考えて進めている。

岡本 のぶ子議員(公明)

多摩川土手のトイレ案内板の充実

質問 多摩川沿いのコースであるたまりバード50キロの狛江市境から二子玉川駅付近までのエリアには、周辺公園のトイレを示す案内板が1つしかない。案内板をふやせ。

答弁 関係所管が調整を図りながら、案内板の設置を検討する。

共生型多機能センターの設置

質問 障害者や高齢者、子どもがともに安心して過ごし、地域住民とも交流できる施設を整備すべきだ。東松山市の例を参考に、共生型多機能センターを設置せよ。

答弁 施設整備の計画を進める際に共生型多機能の施設も研究する。

要援護者も含めた防災訓練の実施

質問 災害時要援護者支援事業を拡充すべきだ。要援護者が防災時に能動的に行動できるように、視覚障害者なども含めた参加型の防災訓練を消防署と連携して実施せよ。

答弁 関係機関と連携し、要援護者主体の取り組みを支援していく。

唐沢 としみ議員(社民)

無縁社会の進行への区の対応

質問 町会、自治会への加入率の低下や高齢者の孤独死の激増など、無縁社会の進行が及ぼす影響は深刻化している。こうした状況の解決に向け、区はどう取り組むのか。

答弁 区民自治と協働を基本に安全で安心なまちの実現に努める。

家庭のきずなづくりの支援

質問 無縁社会の克服を図るには、まずは家庭のきずなを深めることが重要だ。家庭の最も基本的な営みは食事であることを踏まえ、食を通じたきずなづくりを支援せよ。

答弁 家族のきずなづくりにつながるよう食育事業に取り組む。

地域のきずなづくり活動への支援

質問 無縁社会の解決に向け、地域の人と人をつなぐ活動の調整役となる区民をふやすことが重要だ。地域のきずなづくり活動を支援する仕組みを構築せよ。

答弁 活動団体と協働を進める中でネットワークづくりを支援する。

中村 公太朗議員(民主)

区内共通商品券の適正管理

質問 税金が投入されているプレミアム付区内共通商品券を適正に管理すべきだ。売れ残りの集計作業の監視体制を強化するなど、不正防止への仕組みづくりを行え。

答弁 引き続き適正管理に向け、立ち会いによる確認を行う。

姉妹都市提携の拡充

質問 社会がグローバル化する中、国家間の友好関係に影響されない、都市間の友好関係を独自に持つことは重要だ。区独自の国際交流の発展に向け、姉妹都市をふやせ。

答弁 地域の国際交流や世田谷の環境に合った国際交流を進める。

区立校の魅力向上への取り組み

質問 区内の子どもが区立校への入学を希望するよう、各校の魅力向上を高める必要がある。特色のある体験カリキュラムの実施など、各校の独自の取り組みを推進せよ。

答弁 特色ある取り組みを一層充実させ、魅力向上に全力を尽くす。

山口 ひろひさ議員(自民)

避難所でのペット対策

質問 ペットを飼う家庭がふえており、災害発生時のペットへの対策が必要だ。避難所生活でのペットをめぐるとラブルを防ぐため、ルールづくりなどの対策を講じよ。

答弁 人と動物が円滑に避難所生活を送れるよう引き続き取り組む。

民有地の緑の保全と創出

質問 みどり33の実現には、民有地の緑の保全が不可欠だ。保存樹木の剪定への支援などにとどまらず、民間の緑の保全や創出につながるインセンティブを設けよ。

答弁 区民、事業者の理解と協力を得て緑の保全と創出を図る。

国が進める幼保一体化の影響

質問 国の幼保一体化へ向けた法改正への方向性が定まっておらず、子育て施策への影響が懸念される。区の子育てサービスが後退しないよう、将来を見据えて取り組み。答弁 今後も国の動向を注視し、積極的に情報を収集する。

ひうち 優子議員(世田谷)

高齢者専用の駐輪スペースの設置

質問 高齢者や障害者にとって重い電動自転車などをラック付駐輪スペースに駐車することは困難だ。駐輪場に高齢者や障害者専用のスペースの駐輪スペースを設置せよ。

答弁 高齢者の利用状況などを踏まえスペースの確保や拡充を図る。

教育の質の向上に向けた取り組み

質問 教育の質を高めるため、教員が情報交換をし、互いに切磋琢磨することが必要だ。学校間や教員間の情報交換をさらに密にし、教員の指導方法の充実を図れ。

答弁 各学校の取り組み成果の発信などで教職員の意識改革を図る。

危険な交差点等の相談窓口の周知

質問 区民の安全安心を守るため、区は責任を持って道路の安全確保に努めるべきだ。信号機設置などの区民要望を受けとめるため、相談窓口をわかりやすく周知せよ。

答弁 窓口を種々設けており、相談者の身近な場所で相談を受ける。

石川 征男議員(自民)

今後の介護施設整備のビジョン

質問 高齢化の進展により、介護施設の不足は今後一層深刻となる。施設の実態に向け、縁組協定を結び交流が深く、第2のふるさとと言われる川場村に特養ホームを整備するなどの新たな発想が必要だ。超高齢社会の到来に向けた介護施設整備の区のビジョンを示せ。

答弁 在宅介護を支援する施設の充実や、特養ホームや老健施設の適切な整備の実現に鋭意努力する。

地域が一体となった防犯活動

質問 振り込め詐欺などの犯罪を未然に防ぐには、地域での顔の見える関係づくりが重要だ。区民の安全安心の向上に向け、区民と区警察が連携して防犯活動を行えるよう、区民に身近な地域を担当する支所や出張所、まちづくりセンターは調整役をしっかりと果たせ。

答弁 今後も地域団体や関係機関との連携強化により、安全安心のまちづくりをさらに進める。

岡本 のぶ子議員(公明)

多摩川土手のトイレ案内板の充実

質問 多摩川沿いのコースであるたまりバード50キロの狛江市境から二子玉川駅付近までのエリアには、周辺公園のトイレを示す案内板が1つしかない。案内板をふやせ。

答弁 関係所管が調整を図りながら、案内板の設置を検討する。

共生型多機能センターの設置

質問 障害者や高齢者、子どもがともに安心して過ごし、地域住民とも交流できる施設を整備すべきだ。東松山市の例を参考に、共生型多機能センターを設置せよ。

答弁 施設整備の計画を進める際に共生型多機能の施設も研究する。

要援護者も含めた防災訓練の実施

質問 災害時要援護者支援事業を拡充すべきだ。要援護者が防災時に能動的に行動できるように、視覚障害者なども含めた参加型の防災訓練を消防署と連携して実施せよ。

答弁 関係機関と連携し、要援護者主体の取り組みを支援していく。

里吉 ゆみ議員(共産)

高齢者センター新樹苑の活用

質問 区は5年もの間、新樹苑への新たな入居を認めておらず空室が目立っている。高齢者に安心して生活できる住居を提供するため、入居者の受け入れを即刻再開せよ。

答弁 新樹苑の今後のあり方検討委員会を設置したところである。

新たなグラウンドの整備

質問 区内には少年野球などのできるグラウンドが少なく、整備拡充が必要だ。移転する明大八幡山グラウンドの跡地に、区民が利用できるグラウンドを整備せよ。

答弁 移転後は、売却を受けた民間の会社が事業に着手すると聞く。

シルバークラスの世田谷線への適用

質問 元気高齢者の外出を一層促進すべきだ。シルバークラスを利用できる交通機関に、区内の移動に欠かせない存在である世田谷線を加えるよう、都に働きかけよ。

答弁 世田谷線への適用の要望は、機会をとらえて都に伝える。

中塚 さちよ議員(民主)

介護つき有料老人ホームの評価

質問 区では介護つき有料老人ホームが増加し、競争激化による倒産も懸念される。入居者が困ることのないよう経営状況やサービスの質の評価、公表を行え。

答弁 まずは区民との交流などを施設に求める取り組みを進める。

駅周辺の路上禁煙地区指定の推進

質問 区民からの要望が多い駅周辺への路上禁煙地区指定を一層推進すべきだ。駅を境に出張所などの管轄が異なる箇所では、連携を密にして指定に取り組め。

答弁 隣接地区の情報共有などで、同時期に指定できるよう取り組む。

身体障害者の健康づくりへの支援

質問 スポーツを通じた身体障害者の健康づくりは重要だ。大蔵第二運動場にフィットネス利用の介助スタッフを配置するなど、気軽にスポーツできる体制を整えよ。

答弁 他自治体の例などを調査し、スポーツ振興財団と研究する。



# 問

羽田 圭二議員(社 民)

幼保一体化の課題への対応

【質問】 幼保一体化の課題は、すべての子どもに教育と保育を保障できるかある。幼稚園と保育園の廃止案には反対の声がある。現行制度や実態に配慮し、検討せよ。

【質問】 国の動向などを見きわめながら検討する必要があると考える。

【質問】 高齢者が3カ月で退院を迫られ、家族介護者も高齢のため、転院先や入所先の施設を探す際に苦慮する例が多い。区は支援制度の周知徹底など、対策を強化せよ。

【質問】 今後も相談の充実を図るとともに、区民への周知に努める。

【質問】 職場のいじめやセクハラ被害などに関する労働相談がふえており、対策が急務だ。パワハラやセクハラなどの防止に向け、区内事業者などへの啓発に取り組み。

【質問】 区内中小企業向けの情報誌などを活用し、一層啓発に努める。

小泉 たま子議員(新 風)

区長の目指す予防型行政の推進

【質問】 区長が目指す予防型行政は、例えるなら風邪を引かない丈夫な体をつくることだが、実際の区政運営は風邪の予防にとどまっている。根本的な予防型行政を進めよ。

【質問】 根本となる地域のきずな強化に全庁を挙げて取り組んでいる。

【質問】 予防型行政の視点で介護保険事業を展開すべき。要介護者の支援とともに、お元気高齢者がいつまでも元気に暮らすための施策も介護保険事業の中に位置づけよ。

【質問】 該当する予算の枠を限界まで活用しており現時点では難しい。

【質問】 高齢化が進む中、徒歩圏内で基本的な生活が営める環境整備が不可欠だ。地域生活に必要な施設機能のビジョンを示し、複合化も含めた区施設の配置を行え。

【質問】 公共施設整備方針に基づき、合築などで適正配置を維持する。

鈴木 昌二議員(自 民)

世田谷9年教育の推進

【質問】 世田谷9年教育には、中学校が一体となって取り組むべきだ。小学校の教師が中学生も、中学校の教師が小学生も指導するなど、十分に連携して活動を進めよ。

【質問】 小中学校の教職員と一緒に充実した活動を行えるよう努める。

【質問】 配慮を要する児童生徒がふえており、教師の指導力向上が不可欠だ。通常学級の教師も配慮を要する児童生徒への理解を深めて対応できるように、支援を充実せよ。

【質問】 教育相談室の校外アドバイザーの効果的な活用を促進する。

【質問】 施設利用の競合などで、小中学校のスポーツ教室の運営が難しくと聞く。区はスポーツ教室の重要性を学校に周知し、活動が活発に行われるよう積極的に支援せよ。

【質問】 今後もスポーツ教室の趣旨の周知と適切な事業運営に努める。

平塚 敬二議員(公 明)

集団回収や地区回収への支援

【質問】 資源ごみの集団回収や地区回収は、地域のきずな強化にも有効な活動だ。官公需適格組合を活用して区民が活動への相談ができる場を設け、活動促進を図れ。

【質問】 区民団体が円滑に活動できるように、きめ細やかな支援を行う。

【質問】 豪徳寺駅周辺地区のまちづくり

【質問】 豪徳寺駅周辺地区は公園などが未整備で木造住宅も多く防災上の問題が指摘されている。豪徳寺1丁目付近への消防水利の整備も含め、防災まちづくりを進めよ。

【質問】 今後も、安全で安心して暮らせるまちの実現を目指す。

【質問】 環7と小田急交差点部分の歩道橋化

【質問】 小田急線地下化後の上部利用では、自転車と歩行者の通路を確保すべきだ。特に環7と小田急線が交差する場所に、車いすも安全に通行できる歩道橋を整備せよ。

【質問】 上部利用案を作成し、事業者などと協議を行う中で検討する。

あべ 力也議員(減 税)

高齢者の孤立をなくす取り組み

【質問】 社会問題化している高齢者の孤立をなくすには、住民同士が支え合う地域社会の構築が重要だ。高齢者も含めた異なる世代が交流できる場づくりに、区は力を注ぎ、活動拠点の整備などに努め、地域交流の一層の充実を図る。

【質問】 父子家庭への支援策の充実

【質問】 児童扶養手当の対象が拡大され父子家庭への支援は一歩進んだが、まだまだ不十分だ。多様な家族が豊かに暮らせるよう、父子家庭に対する支援策を一層充実せよ。

【質問】 関連所管で構成する作業部会を設け具体の検討を進めている。

【質問】 自転車専用レーンの整備推進

【質問】 国交省によると、道路に車道と自転車専用レーンを区別する白線を引くだけの簡便な手法で自転車専用レーンの整備が可能だ。区もこの手法を検討し、一層進めよ。

【質問】 車道外側線の位置の見直しによるモデル実施を準備している。

西村 じゅんや議員(民 主)

2025年に向けた医療や福祉の充実

【質問】 団塊世代が75歳を迎える2025年以降は、以上の社会保障費の増大が予想される。超高齢社会の到来を前に徹底した行財政改革を進め、医療と福祉の充実を図れ。

【質問】 在宅介護の充実など2025年を展望した取り組みを着実に進める。

【質問】 交通実態に見合ったまちづくり

【質問】 超高齢社会に向けたまちづくりでは、歩行者と自動車の共存の視点が重要だ。京王線連立化に伴う沿線まちづくりでは、交通実態に見合ったまちづくりを進めよ。

【質問】 国や都と連携し、将来を見据えたまちづくりを推進する。

【質問】 明大八幡山グラウンドの動向

【質問】 移転後の明大八幡山グラウンド跡地について、区は当該土地を取得する考えはないとの見解を示した。広域避難場所でもある当該土地の今後の見直しを示せ。

【質問】 広域避難場所を含めたまちづくりの視点で大学と協議したい。

# 質

田中 優子議員(み・行)

ベーシックインカムへの区認識

【質問】 日本の社会保障制度は抜本的な見直しの時期を迎えている。国がすべての国民に最低限の収入を保障する新たな制度「ベーシック・インカム」への認識を示せ。

【質問】 効果などの予測が議論されている段階だと受けとめている。

【質問】 オウム教団規制条例の制定

【質問】 オウム教団に関する事件は今でも起きており、対策を一層強化すべきだ。足立区と同様に、信者への立ち退き命令などを規定した規制条例を区も制定せよ。

【質問】 条例の実効性などについて今後の動向を注視し、研究する。

【質問】 町会や自治会の活性化

【質問】 町会などの活性化に一層力を入れるべきだ。区民の生きた声を区に届けるといって、区政に主体的に参画する団体としてとらえ、町会などの魅力の向上を図れ。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。

木下 泰之議員(無党派)

下北沢駅前ロータリーの代替案

【質問】 都の連立事業調査では井の頭線下部活用の茶沢通りから下北沢東側への公共交通の周回道路を示した。実現すれば、広大な駅前ロータリーは不要だ。見解を示せ。

【質問】 当該道路は検討当初から自動車通行を想定したことはない。

【質問】 216号線の優先整備路線への格上げ

【質問】 区調査資料に補助216号線を優先整備路線に改定したのは京王線連続立体等、都市基盤整備事業と整合した道路整備方針策定のため、とある。連立との関係を示せ。

【質問】 道路整備の進捗状況などから優先整備路線に位置づけた。

【質問】 ノロウイルス感染対策の強化

【質問】 学校などの施設でのノロウイルス感染対策を強化すべきだ。定期的な検便を給食調理従事者などに義務づけるため、業務委託契約の内容に検便実施を規定せよ。

【質問】 費用対効果や疫学的見地から勘案すると、困難だと考える。

山本 きょう子議員(生 ネ)

区政に若者が参画できる場の存続

【質問】 区が立ち上げた若者による会議体であるユースミーティング世田谷は、総合的な若者施策の検討を重ねてきた。この会議体を存続させた上で若者施策を展開せよ。

【質問】 若者施策について、関係所管が十分連携し取り組みを進める。

【質問】 高齢者などの居住支援の充実

【質問】 高齢者や障がい者の民間賃貸住宅への入居支援が急務だ。孤独死など、家主の不安を払拭するため、福祉部門と連携して住まいあしん訪問サービスを充実せよ。

【質問】 今後も、関係所管が連携を強化してサービスの拡充を図る。

【質問】 三軒茶屋駅のエレベーターの増設

【質問】 田園都市線三軒茶屋駅には、改札階から地上に上がるエレベーターが1基しかない。都営住宅などが多く高齢者が多い駅南側へのエレベーター設置を即刻実現せよ。

【質問】 建物更新の機会に、設置の協力を要請する取り組みを行う。

山内 彰議員(自 民)

区内の各種学校との連携の強化

【質問】 各種学校が多くある区の特性を生かすべきだ。連携を強化し、美容学校の学生に介護施設でボランティアとしてメイクをしてみようなど、地域交流の活性化を図れ。

【質問】 関係機関と連携し、学生の活動が活発になるよう働きかけろ。

【質問】 区内の各種学校に係る情報の発信

【質問】 区内に学生がふえることは、まちの活性化や地域経済の発展につながる。区報などを活用し、区内の学校のイベントの紹介や学生募集などに積極的に取り組め。

【質問】 関係部署が連携し多くの活動団体を紹介できるように研究する。

【質問】 自然を生かした施設の安全対策

【質問】 自然には木の根が出ているなどの思わぬ危険がある。船橋小径やプレーパークなどの自然を生かした施設では、安全利用に向けて利用者へ危険性を十分周知せよ。

【質問】 自然環境との接し方について、さらに啓発を進める。

稲垣 まさよし議員(未 来)

増大する福祉ニーズへの対応

【質問】 福祉施設の整備は喫緊の課題だが、高齢者施設と障害者施設との整備への国や都の補助は十分ではない。厳しい財政状況の中、区は福祉ニーズにどう対応するのか。

【質問】 NPOなどのさまざまなサービス提供主体との協働を進める。

【質問】 国土地の無償貸与による施設整備

【質問】 国土地を活用した保育施設整備が可能となったが、国は市場価格で有償貸与すると聞く。保育事業者が安定的に運営できるように、区への無償での貸与を国に求めよ。

【質問】 国に対して可能な限り低廉な賃料設定とするよう要望する。

【質問】 梅ヶ丘病院跡地の整備手法

【質問】 都立梅ヶ丘病院跡地の整備では民間活力の導入が重要だ。事業者の参入促進に向け、都に土地の無償提供を求めるなど、事業者の負担軽減を図る手法を検討せよ。

【質問】 都との協議を進め、事業手法について具体的に検討していく。

上川 あや議員(虹)

ホームレスの本質は障害者問題だ

【質問】 北九州市のホームレス自立支援施設では退所者の約4割までが市の判定で知的障害者と認められている。都区共同施設でも障害を見落とさない支援体制を築け。

【質問】 適切な支援に結びつこう、関係機関と連携し対策に取り組む。

【質問】 再路上化させない居住支援策

【質問】 ホームレス支援プログラム修了者への都営住宅の転居は昨年度末で終了したが、彼らの多くは保証人の確保が極めて困難だ。区の居住支援制度を活用できないか。

【質問】 住宅セーフティネットの構築に向け、今後検討を進める。

【質問】 ビッグイシューの販売を支援せよ

【質問】 札幌市、大阪市は、ホームレスの自立支援雑誌「ビッグイシュー」に地下道の一角を提供するなど支援している。区でも福祉イベントでブースを提供できないか。

【質問】 福祉イベントなどでの販売協力については今後検討していく。

# 一

# 般

【質問】 町会などの活性化に一層力を入れるべきだ。区民の生きた声を区に届けるといって、区政に主体的に参画する団体としてとらえ、町会などの魅力の向上を図れ。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。

【質問】 町会や自治会の主体性を尊重し、連携や協働を図っていく。



# 次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会  
 10月26日(火) 都市  
 27日(水) 区民  
 11月9日(火) 議運  
 11日(木) 企画、区民、文教  
 12日(金) 福祉、都市  
 15日(月) 分権、オウム、清掃、交通  
 16日(火) 企画、議運  
 22日(月) 企画

会期中の主な会議日程  
 11月24日(水) 本会議(代表質問)、議運  
 25日(木) 本会議(代表質問、一般質問、議案の付託)、企画  
 26日(金) 本会議(一般質問、議案の議決、議案の付託、請願の付託など)、議運  
 29日(月) 企画、区民、文教  
 30日(火) 福祉、都市  
 12月1日(水) 議運、分権、オウム、清掃、交通  
 2日(木) 議運  
 3日(金) 本会議(議案の議決、議案の付託、請願の付託など)、議運  
 4日(土) 本会議(議案の議決)、議運

委員会名称  
 企画=企画総務常任委員会  
 福祉=福祉保健常任委員会  
 文教=文教常任委員会  
 分権=地方分権・庁舎問題等対策特別委員会  
 オウム=オウム問題・災害・防犯等対策特別委員会  
 清掃=清掃・リサイクル対策特別委員会  
 交通=公共交通機関対策等特別委員会

＜1ページからの続き＞  
**●教育委員会委員任命の同意** 1件  
 (全員賛成)  
 岩谷 力(新任)  
**●議員定数条例の改正** 6件  
 賛成多数 賛成=自民、公明、民主、み行、新風、減税、未来、世田谷、無所属  
 反対=共産、生、社民、無党派、虹  
 議員定数を52人から50人に改める。  
**●選挙管理委員の報酬・費用弁償条例の改正**  
 賛成多数 賛成=自民、生、み行、無党派、減税、虹  
 反対=自民、公明、共産、社民、新風、未来、世田谷、無所属  
**●尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書**  
 賛成多数 賛成=自民、公明、共産、生、社民、み行、無党派、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
 反対=民主  
**●ロシア大統領の北方領土訪問に対し毅然とした外交姿勢を求め意見書**  
 賛成多数 賛成=自民、公明、共産、生、社民、み行、無党派、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
 反対=民主  
 以上2件の意見書の内容は下記のとおり  
**○公聴会の開催などで幅広い区民意見を反映させ、いっそうの議会改革を推進する決議**

**◆趣旨採択したもの** 2件  
**○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出を求める請願**  
 (全員賛成)  
**○障害者が24時間安心して地域で日々の生活を送れるようサービスの充実を求める陳情**  
 (全員賛成)  
**◆企画総務常任委員会に付託** 1件  
**○公契約条例に係る検討委員会設置を求める請願**  
**◆福祉保健常任委員会に付託** 3件  
**○都営下馬住宅に高齢者施設の併設を求める陳情**  
**○「子ども・子育て新システム」**

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。  
**◆趣旨採択したもの** 2件  
**○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出を求める請願**  
 (全員賛成)  
**○障害者が24時間安心して地域で日々の生活を送れるようサービスの充実を求める陳情**  
 (全員賛成)  
**◆企画総務常任委員会に付託** 1件  
**○公契約条例に係る検討委員会設置を求める請願**  
**◆福祉保健常任委員会に付託** 3件  
**○都営下馬住宅に高齢者施設の併設を求める陳情**  
**○「子ども・子育て新システム」**

## 意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。  
**尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書**  
 今年9月、尖閣諸島付近の海域でおこった、中国漁船と海上保安庁巡視船との衝突事件をきっかけに、日本と中国との間で尖閣諸島における領有権をめぐる問題が起ころっている。  
 尖閣諸島は歴史的にも国際法上も日本の領有であるというのが、政府の明確な見解である。  
 政府は、尖閣諸島は日本の領有であるとの堂々たる主張を行いなから、領有をめぐる紛争を防いでいくよう努力していかねばならない。  
 また、衝突事件で那覇地方検察庁は、公務執行妨害容疑で逮捕した中国人船長を処分保留のまま釈放した。海上保安庁の撮影した事故時の映像で明らかのように、今回の中国漁船の行った行動は危険且つ卑劣な犯罪行為であり、国内法に基づき厳正に対処すべきである。  
 よって、世田谷区議会は、国会及び政府において、下記の事項を実現し、毅然とした外交姿勢を確立されることを求めるものである。  
 1. 「尖閣諸島は日本固有の領土である」との態度・根拠を明確に中国及び国際社会に示し、外交努力に努めること  
 2. 政府は、検察当局の判断も含め、今回の事件の事実関係の解明に努め、国会の場で国民に対し説明責任を果たすこと  
 3. 尖閣諸島の警備体制を充実・強化すること  
 以上、地方自治法第99条の規定

## 要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。  
**固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める要望書**  
 区民や小規模事業者を取り巻く環境は、長期的な景気の低迷に加え、雇用不安の拡大、金融事情の悪化など、さまざまな危機に晒されています。  
 このような社会経済環境の中で、世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。  
 こうした中、東京都が実施している、小規模住宅用地の都市計画

税の軽減措置、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置、固定資産税等の負担水準が65%を超える商業地等の税額軽減措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。  
 よって、世田谷区議会は東京都に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。  
 1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き平成23年度以降も実施すること。  
 2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割減免措置を引き続き平成23年度以降も実施すること。  
 3. 商業地等における固定資産税・都市計画税を、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を引き続き平成23年度以降も実施すること。  
 平成22年11月16日  
 東京都知事 あて

**委員の辞任**  
 ○議会運営委員会  
 小泉 たま子委員(新風)  
**副委員長の互選結果**  
 ○企画総務常任委員会  
 副委員長 市川 康憲(公明)  
 ○地方分権・庁舎問題等対策特別委員会  
 副委員長 風間ゆたか(民主)  
 副委員長 山内 彰(自民)

**編集後記**  
 ○今定例会では、37名の議員が、区政のさまざまな課題について質問を行いました。  
 ○区議会だよりのテープ版とデイジー(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などご希望される方には定期的にお送りしていますので、お知らせい合いでご希望の方がいらっしやいましたら、ご連絡ください。  
 また、区立図書館で貸し出しも行っていますので、ぜひご利用ください。  
 ○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。  
 TEL(五四三三) 二七七九  
 FAX(五四三三) 三〇三〇

